

みずほCustomer Desk Report 2018/09/20 号(As of 2018/09/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.31
TKY 9:00AM	112.29	1.1679	131.14	1.3166	0.7225
SYD-NY High	112.44	1.1715	131.68	1.3215	0.7276
SYD-NY Low	112.16	1.1651	130.80	1.3098	0.7214
NY 5:00 PM	112.29	1.1673	131.10	1.3144	0.7267
NY DOW	26,405.76	158.80	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,950.04	▲ 6.07	日本10年債	0.1200	1.00bp
S&P	2,907.95	3.64	米国2年債	2.7928	▲1.22bp
日経平均	23,672.52	251.98	米国5年債	2.9490	0.35bp
TOPIX	1,785.66	25.78	米国10年債	3.0654	0.93bp
シカゴ日経先物	23,615.00	▲ 95.00	独10年債	0.4860	0.55bp
ロンドンFT	7,331.12	30.89	英10年債	1.6085	4.05bp
DAX	12,219.02	61.35	豪10年債	2.6995	4.80bp
ハンセン指数	27,407.37	322.71	USDJPY 1M Vol	6.40	▲0.07%
上海総合	2,730.85	30.90	USDJPY 3M Vol	7.20	0.07%
NY金	1,208.30	5.40	USDJPY 6M Vol	7.65	0.03%
WTI	70.77	1.18	USDJPY 1M 25RR	-0.55	Yen Call Over
CRB指数	191.77	1.21	EURJPY 3M Vol	8.67	0.02%
ドルインデックス	94.54	▲ 0.10	EURJPY 6M Vol	8.95	▲0.05%

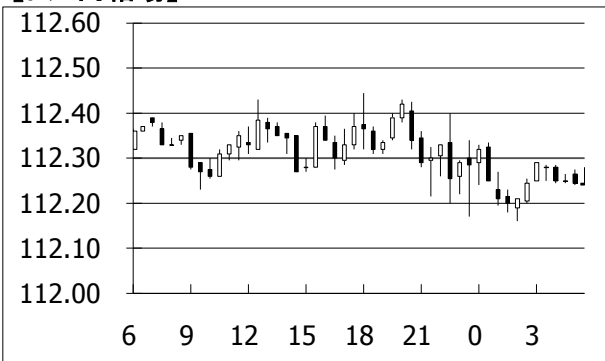
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月19日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥444.6B	-¥483.2B
	-	日 日銀金融政策決定会合 当座預金政策金利	- -0.1%	-0.1%
	-	日 黒田日銀総裁「政策修正、効果の評価するのはやや尚早」		
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.7%/2.7%	0.5%/2.4%
	17:30	英 PPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.9%	0.2%/2.9%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	8月 1,282K/1229K	1,238K/1310K
	21:30	米 経常収支	2Q -\$101.5B	-\$103.4B

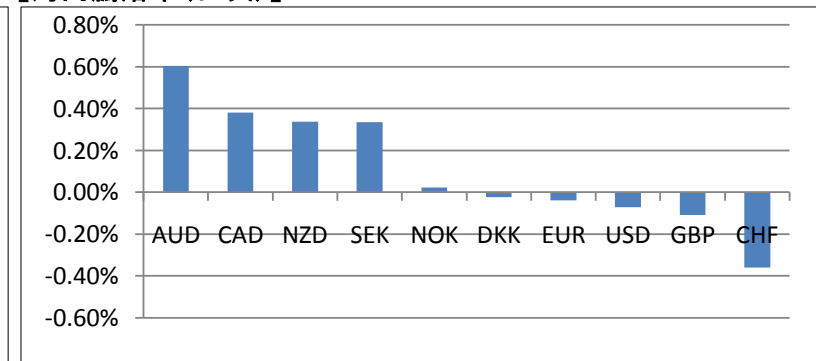
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月20日	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	8月 -0.2%/2.3%	0.7%/3.5%
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	9月 18.0	11.9
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 210K	204K
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 5.36M	5.34M
	23:00	欧 消費者信頼感指数	9月 -2.0	-1.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.160-1.1700	130.50-131.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、小幅なレンジでの推移となった。日銀は金融政策の据え置きを決定し、黒田総裁の会見もサプライズ無しで通過。中国首相が輸出目的の通貨切り下げをしないことや、今後も慎重な金融政策を堅持すると発言したことから、米中貿易摩擦緩和に向けた協議の行方に期待が拡がるとドル円は下値がサポートされた。海外時間に発表された 米8月住宅着工件数が予想を上回る一方、建設許可件数が予想を下回り、強弱混在の結果となる。前日に続き株式市場が大幅に上昇し、米金利が上昇する展開となったが、メイ英首相がバルニエEU首席交渉官の提案を拒否する方針とのヘッドラインを受け、ポンドが下落すると、クロス円主導でドル円も上値重い展開となった。本日は自民党総裁選挙であり、13時からの開票予定であるが波乱無く通過しう。市場ではリスクオフムードが後退しており、来週にFOMCを控えドル円の下値は堅そうだ。

東京	東京時間は112.29レベルでオープン。前日海外時間の堅調地合いを引き継ぎ一時112.43まで上昇。日経平均や米金利の上昇を受けてドル円は高値圏を維持したものの上昇幅は限定的だった。また、本日開催された日銀会合では金融政策の据え置きが決定されたことで相場への影響は限定的となった。112.37レベルで海外市場へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.37レベルでオープン。8月英国消費者物価指数が発表されるとポンド円に連れて一時112.44と高値を付けるも、マーケットの反応は限定的。その後、英国メイ首相のEU離脱後のアイルランド国境問題に関するEUの修正案を拒否する方針との発言を受け、下落したポンド円にドル円は連れ安の展開となり、112.30レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3155レベルでオープン。8月英国消費者物価指数が前年比2.7%と半年ぶりの高水準となった事が好感され、1.3215まで値を上げた。英国メイ首相のアイルランド国境問題発言が伝わると1.3098まで急落。その後は持ち直すも1.3142レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	中国首相が輸出目的の通貨切り下げをしないことや、今後も慎重な金融政策を堅持すると発言したこと、海外市場でリスク志向が強まりドル売りが強まる一方、円売りに下値をサポートされ112.44まで上昇したドル円は、112.30レベルでNYオープン。本日はユダヤ教で一番大きい祝日で市場参加者が少ない中、米8月住宅着工件数が予想を上回る一方、建設許可件数が予想を下回り、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的。その後は米株式市場が大きく続伸し、米金利が上昇する一方、ドル円はリスク志向のドル売りに上値を抑えられ112.16まで下落する。午後は狭いレンジでの推移が続き、112.29レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で 1.1715まで戻す局面もあったものの、メイ英首相がバルニエEU首席交渉官の提案を拒否する方針とのヘッドラインを受け、ポンドが下落する動きにユーロドルも1.1671まで下落し、1.1678レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1651まで下落するが、その後はドル売りが優勢となり1.1693まで戻す。午後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、1.1673レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 関・鶴田